

Press Information

第67回自動車技術会賞 受賞者決定

公益社団法人 自動車技術会

公益社団法人 自動車技術会(会長 松本 宜之)は、5月24日(水)、第67回自動車技術会賞の受賞者を決定しました。

自動車技術会賞は、1951年に自動車工学および自動車技術の向上発展を奨励することを目的として設けられ、自動車技術における多大な貢献・功績に対し授賞しています。

第67回の受賞者は、次の通りです。

【技術貢献賞】 3件

石川 博章	株式会社デンソー	高効率巻線を用いたオルタネータ、主機モータ等の環境製品の実用化への貢献
増田 義彦	株式会社豊田中央研究所	エンジン開発、燃料電池開発を通じて自動車技術、社会に貢献
山中 旭	元三菱自動車工業株式会社	自動車の研究開発に長年従事し、視認性や衝突安全に関する技術開発に貢献

【浅原賞学術奨励賞】 4件

外館 直樹	スズキ株式会社	自動車周りに発生する縦渦による誘導抵抗の予測
井上 慎太郎	トヨタ自動車株式会社	DYC(Direct Yaw-Moment Control)と操舵支援による人間機械協調型運転支援システムに関する研究—経路追従走行における高齢ドライバーへの支援効果—
白井 隼人	トヨタ自動車株式会社	モデル予測に基づく目標修正アルゴリズムのエンジン吸排気制御への応用
是石 智正	トヨタ自動車株式会社	レーザースクリーウェルディングの車両開発(第2報)

【浅原賞技術功労賞】 2件

松永 和彦	いすゞ自動車株式会社	自動車空調分野の学術的活動と研究への貢献
志村 節	トヨタ自動車株式会社	エンジントライボロジー現象解析を通じ、エンジン部品の低摩擦化技術の開発

【論文賞】 9件

望月 隆史	株式会社エステック	主成分モード分析による車体主要振動モードの把握
田上 公俊、他4名	大阪大学	急速圧縮膨脹装置でのノッキング特性に及ぼす燃料性状の影響
稲垣 和久、他4名	株式会社豊田中央研究所	小ボア径ディーゼルエンジンの噴霧設計に関する理論的研究(第1報~3報)
脇坂 佳史、他4名	株式会社豊田中央研究所	壁温スイング遮熱法によるエンジンの熱損失低減(第2報~第4報)
神田 靖典、他1名	マツダ株式会社	Reduction of Diesel Knock Noise by Controlling Piston Vibration Characteristics
山門 誠、他2名	神奈川工科大学	ステア特性を好適とする前後運動制御に関する基礎的検討
久保田 剛、他4名	ヤマハ発動機株式会社	Development of Fracture-split Connecting Rods made of Titanium Alloy for Use on Supersport Motorcycles
中島 佐知子、他2名	トヨタ自動車株式会社	統計的手法を用いたリモートレーザ溶接のインライン品質保証技術の開発
梶山 優子、他4名	トヨタ自動車株式会社	装飾クロムめっき腐食に及ぼす融雪剤と土壌成分の影響解析

【技術開発賞】 8件

森永 真一、他4名	マツダ株式会社	新しい価値を提供する新小型クリーンディーゼルエンジン
西尾 彰高、他4名	株式会社アドヴィックス	環境対応車向け電子制御ブレーキシステムの開発
林 浩一郎 他4名	トヨタ自動車株式会社	熱可塑性CFRPスタンパブル材料及びその適用部品燃料電池スタックフレーム
佐藤 広一 他4名	トヨタ自動車株式会社	世界トップクラスの低燃費を実現したHV車用リチウムイオン電池の開発
川口 暁生 他4名	トヨタ自動車株式会社	燃焼室壁温スイング遮熱によるエンジン冷却損失低減技術の開発
菊池 英明 他4名	株式会社本田技術研究所	フロントフード下への搭載を可能とした、新型自動車用小型燃料電池スタックの開発
安原 重人 他4名	株式会社本田技術研究所	熱可塑性ガラス繊維強化樹脂を用いたバンパービームの開発
杉本 篤 他4名	株式会社小糸製作所	ロービーム一体LEDアレイ式ADBヘッドランプの開発と商品化

詳細につきましては次をご覧ください。⇒ <http://www.jsae.or.jp/09award/jsaeawa.php>

Press Information

【技術開発賞の授賞について】

今年度の受賞は8件中、燃料電池車が3件・安全が3件となり、社会的にも注目を集めている分野からの受賞が多くなった。燃料電池車の分野では昨年、新型 FC システムが1件受賞しているが、今年度の受賞は、構成部品の改良や改善に焦点を当てた技術が受賞している。また昨年、安全の分野で受賞は無かったが、ブレーキやバンパーまたヘッドランプという従来からある構成部品の改良や改善が受賞対象となった。一方で、エンジン・トランスミッションの分野では、2件の受賞が共にディーゼルエンジンを対象としており、燃料電池車が注目を集める中で、ディーゼルエンジンの改良や改善も評価の対象となった。

【自動車技術会賞の種類と概要】

技術貢献賞	第3代会長 楠木直道氏、第6代会長 荒牧寅雄氏、第9代会長 齋藤尚一氏、第10代会長 中川良一氏、伊藤正男氏の各氏から提供された基金をもととする賞。 ■技術貢献賞:自動車に関する技術の進歩発達に貢献しその功績が顕著な個人に贈る賞。
浅原賞 学術奨励賞 浅原賞 技術功労賞	初代会長 浅原源七氏の提案により昭和26年に創設された賞。 ■学術奨励賞:満37才未満であって、過去1年間に自動車工学又は自動車技術に寄与する論文等を発表した将来性ある新進の個人に贈る賞。 ■技術功労賞:永年、自動車技術の進歩向上に努力した功労が大きく、かつ、その業績が世にあまり知られていない個人に贈る賞。
論文賞 技術開発賞	第3代会長 楠木直道氏、第6代会長 荒牧寅雄氏、第9代会長 齋藤尚一氏、第10代会長 中川良一氏、伊藤正男氏の各氏から提供された基金をもととする賞。 ■論文賞:過去3年間に自動車工学又は自動車技術の発展に寄与する論文を発表した個人および共著者に贈る賞。 ■技術開発賞:過去3年間に自動車技術の発展に役立つ新製品又は新技術を開発した個人および共同開発者に贈る賞。

授賞式は、「2017年自動車技術会春季大会」会期中の5月25日(木)12:30~13:30に、パシフィコ横浜 会議センター3階301+302号室で行います。

授賞式後、展示ホール 2F コンコースにて、14:15~14:45に授賞者が直接来場者からの質問に答える「受賞者 Q&A タイム」を実施します。

以上